2024年

月刊 星空の散歩道 9月号

9月上旬 21時ごろ
9月下旬 20時ごろ の空
ステラナビゲータ／
株式会社アストロアーツ

月や惑星・星座を探してみよう！

9月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空に春の星座、天頂に夏の星座、東の空に秋の星座が見えています。

＜西＞　うしかい座（アルクトゥルス）
＜天頂＞　こと座（ベガ）、はくちょう座（デネブ）、わし座（アルタイル）
＜南＞　みなみのうお座（フォーマルハウト）
＜東＞　ペガスス座、アンドロメダ座
＜北＞　北極星、カシオペヤ座

☆天文トピック☆

9月8日　土星が衝

地球から見て、土星が太陽のちょうど反対側にくるので、ほぼ一晩中、土星を見ることができます。

9月17日　中秋の名月

ススキを飾り、月に見立てた団子や芋を供えて、農作物の収穫を祝います。

9月22日　秋分

太陽が秋分点（天の赤道と黄道の交点）を通過する日。

☆月の形の変化☆

9月 3日	新月	●
9月11日	上弦	◐
9月18日	満月	○
9月25日	下弦	◑

☆9月の惑星☆

金星…日没後、西の空低く
土星…ほぼ一晩中
木星…明け方、南東の空
火星…明け方、南東の空

＜天文コラム＞　月のクレーターに注目！～コペルニクス～

秋に名月を観るとき、肉眼で楽しむこともよいですが、望遠鏡でのぞくと「クレーター」を数多く観ることができます。クレーターとは、主に天体の表面に見られる円形のくぼみや穴のことで、天体の衝突によって形成されたと考えられています。

様々なクレーターの中でも、科学的価値と視覚的魅力の両方を兼ね備えたものの一つに「コペルニクス」があります。地球から見ると月面の中央からやや左上にあり、直径は93ｋｍ、内側に琵琶湖が収まる大きさで、深さは3,760mあります。これは富士山が隠れてしまうほどの高さです。

コペルニクスクレーターは周囲に向かって放射状に伸びる光条（明るい線状の模様）も特徴的です。これは、クレーター形成時に飛び散った砕屑物が月の表面に広がったものです。特に満月の時に観察するとわかりやすく、目を引く存在です。

このクレーターの形成は古い地形が多い月では比較的新しく、約8億年前と推定されています。このエリアから採取された岩石は、月の地質学的な歴史を研究する上で貴重な情報をもたらしました。

望遠鏡をのぞく機会があれば、コペルニクスクレーターに注目してみてはいかがでしょう。

伊丹市立こども文化科学館　発行日　2024年8月20日
〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36　TEL：(072)784-1222
HP：http://business4.plala.or.jp/kodomo/